

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 10 巻第 14 号

第 14 週 (4 月 5 日 ~ 4 月 11 日)

発行年月日:平成22年(2010年) 4月15日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第 14 週)

- ・一類感染症----報告はありません
- ・二類感染症----**結核 3名**
- ・三類感染症----報告はありません
- ・四類感染症----報告はありません
- ・五類感染症----**梅毒 1名** (早期顕症梅毒 期)

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(372名)より増加し、今週は441名となっています。今週増加した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、手足口病等で、減少した疾患は、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎および百日咳です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム^{*}」によると、水痘では、草津で注意報発生基準値(定点当たり患者数 4.00)となっています。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報(警報)あるいは流行発生注意報(注意報)という表現によりより流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

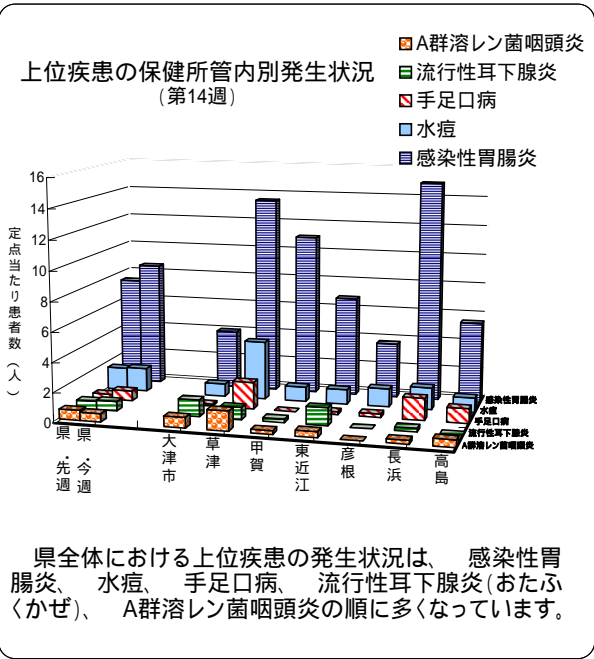
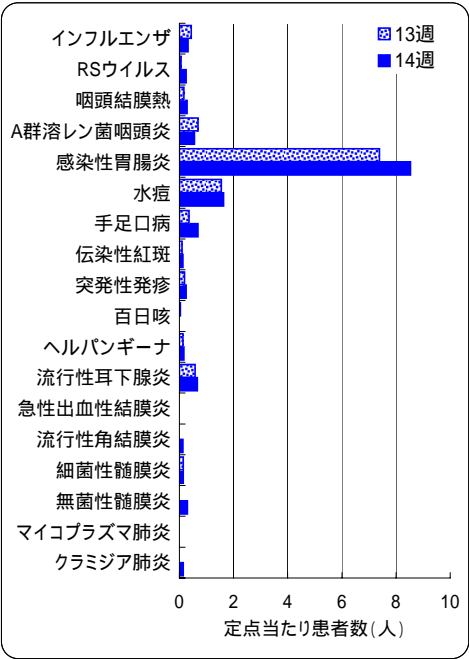
流行発生警報(警報)

大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報(注意報)

今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

参考: 滋賀県における、感染症発生動向調査に基づく流行の警報および注意報システムによる情報提供要領については、滋賀県感染症情報センターのホームページ(<http://www.pref.shiga.jp/ef45/kansen-c/index.html>)に掲載しています。



県全体における上位疾患の発生状況は、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といたします。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成22年 累積報告数		平成21年 累積報告数 ^(※1)		平成20年 累積報告数	
		滋賀 ^(14週)	全 国 ^(※2) (13 週 注)	滋 賀	全 国 ^(※2)	滋 賀	全 国 ^(※2)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	67	5,421	256	26,932	282	28,419
三 類 感 染 症	コレラ	0	2	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	41	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	2	255	27	3,886	53	4,322
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	18	1	56	0	43
	A型肝炎	2	91	0	115	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	28	0	93	2	104
	マラリア	0	15	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	129	8	712	10	893
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	3	201	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	0	46	3	220	5	241
	急性脳炎	0	74	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	35	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	36	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	313	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	0	18	0	73	1	75
	梅毒	3	132	3	692	5	839
	破傷風	0	17	3	113	5	123
	風しん	1	19	2	148	2	309
	麻しん	0	112	7	739	39	11,015
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※3)	0	0	138	12,639	— ^(※4)	— ^(※4)

注：14週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

- * 1: 感染症発生動向調査年報暫定数 (国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。
* 2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています (国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。
* 3: 感染症法の一部改正 (平成21年7月24日施行) により届出の対象となった報告数です (届出期間: 平成21年7月24日～8月24日)
* 4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)。

(1)疾病別・週別発生状況(平成22年第9～14週、3/1～4/11)

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
			9週	10週	11週	12週	13週	14週	週					
			3/1～	3/8～	3/15～	3/21～	3/29～	4/5～	10	11	12	13	14	
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.71	0.50	0.56	0.27	0.44	0.32						
小児科	32	RSウイルス感染症	1.32	0.68	0.61	0.26	0.06	0.25						
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.26	0.06	0.29	0.16	0.16	0.28						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	0.84	1.13	0.55	0.68	0.56						
		感染性胃腸炎	10.19	8.39	7.97	7.39	7.39	8.53						
		水痘	1.42	1.65	2.19	1.39	1.55	1.63						
		手足口病	0.45	0.45	0.68	0.45	0.35	0.69						
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.16	0.06	0.06	0.03	0.10	0.13						
		突発性発しん	0.23	0.23	0.55	0.35	0.19	0.25						
		百日咳	0.03	0	0	0	0.03	0						
		ヘルパンギーナ	0.03	0.13	0	0.10	0.13	0.16						
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.35	0.42	0.42	0.74	0.58	0.66						
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
基幹	7	流行性角結膜炎	0	0	0	0.13	0	0.13						
		細菌性髄膜炎	0	0	0.29	0	0.14	0.14						
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.29						
		マイコプラズマ肺炎	0	0.14	0.29	0.14	0	0						
基幹	7	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0.14	0	0	0.14						

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向……手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎
減少傾向……インフルエンザ、RSウイルス感染症

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第 14 週、4/5～ 4/11)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.32	0.09	0.20	0	0.13	1.86	0	0	
RSウイルス感染症	0.25	0.14	1.00	0	0	0	0	0.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.28	0.86	0.50	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.71	1.33	0.25	0.40	0	0.25	0.50	
感染性胃腸炎	8.53	4.00	13.50	11.00	6.80	3.75	15.00	5.50	
水痘	1.63	0.86	4.00	1.00	1.00	1.25	1.50	1.00	
手足口病	0.69	0.14	1.83	0	0.20	0.25	1.50	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.13	0.29	0.33	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.25	0.43	0.33	0.25	0.20	0	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.16	0	0.50	0	0	0	0	1.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.66	1.14	0.83	0.25	1.20	0	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0	0	0	0	0	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.29	2.00	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	

赤・太字

は警報発生基準値を超えています。

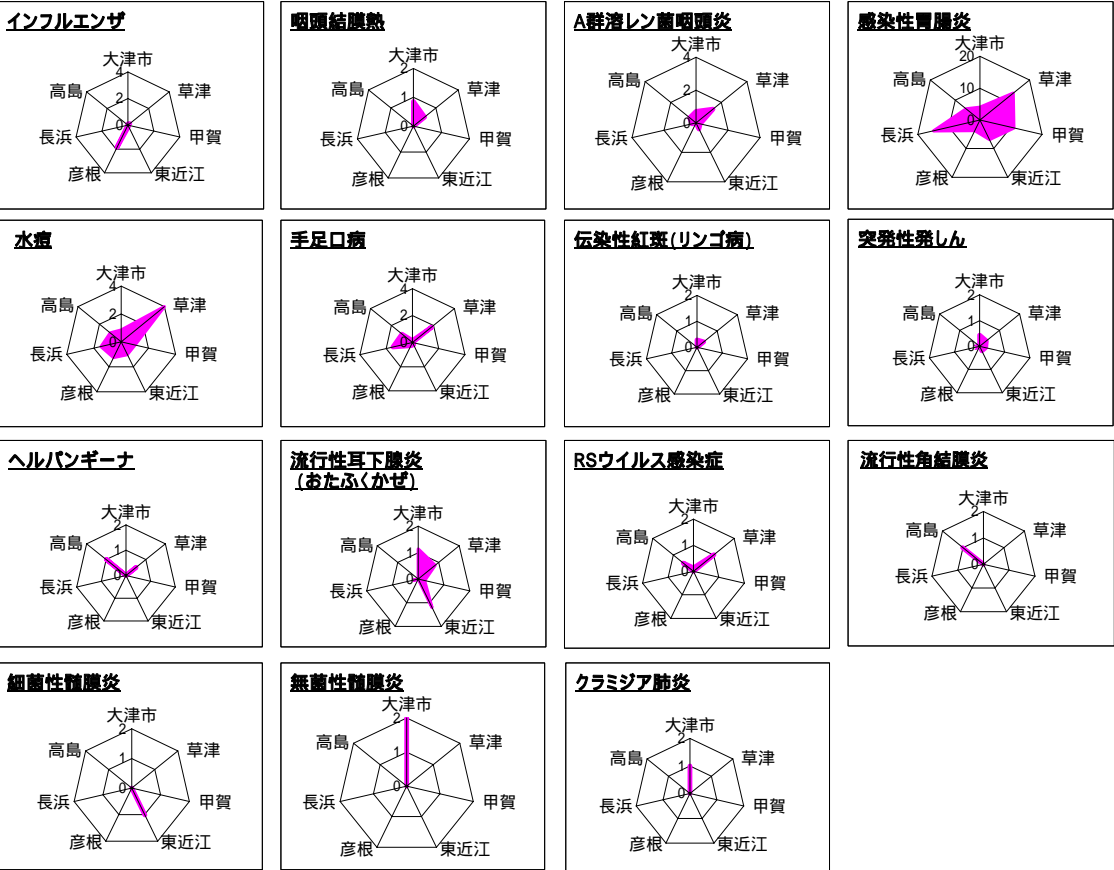
青緑・太字

は注意報発生基準値を超えています。

0246810

定点当たり患者数

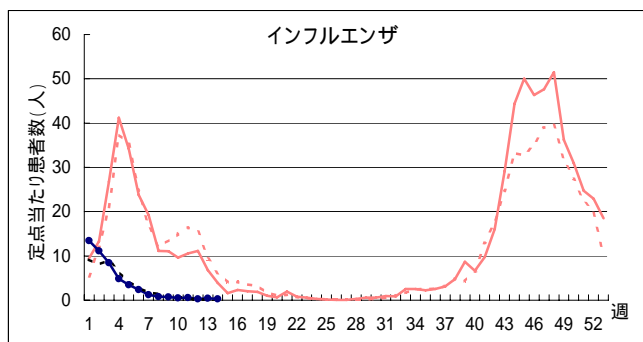
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



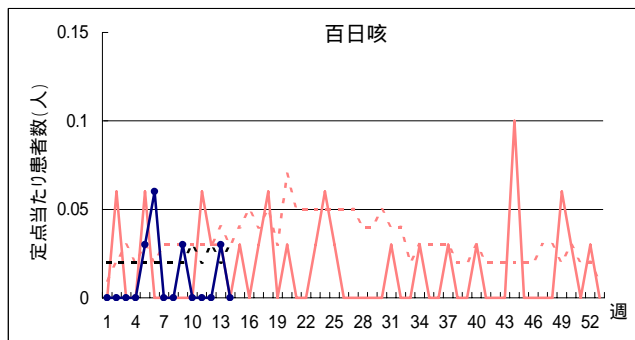
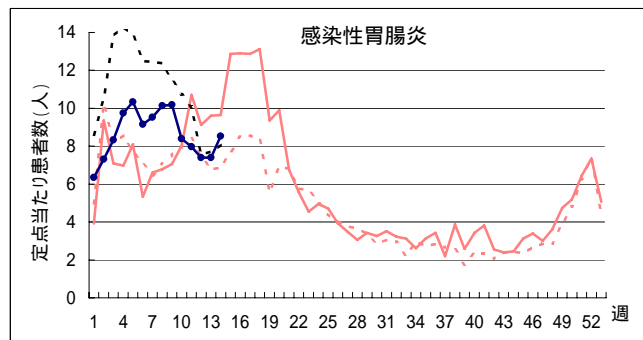
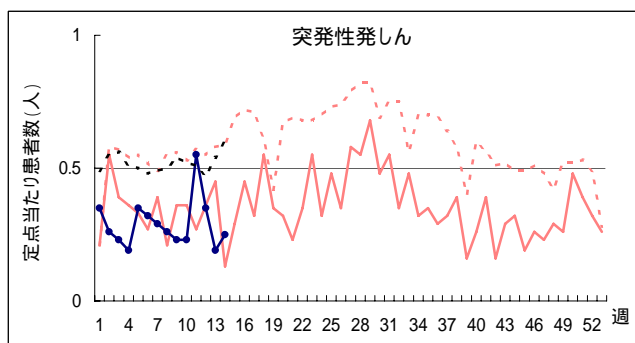
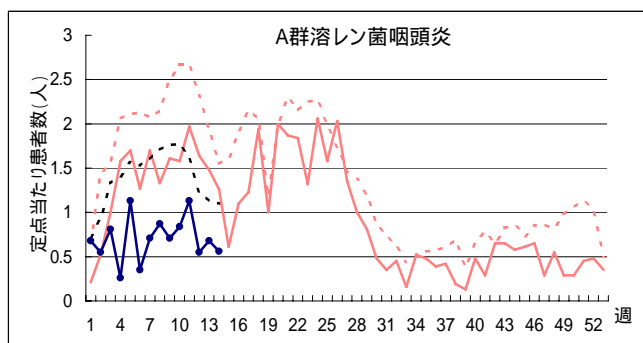
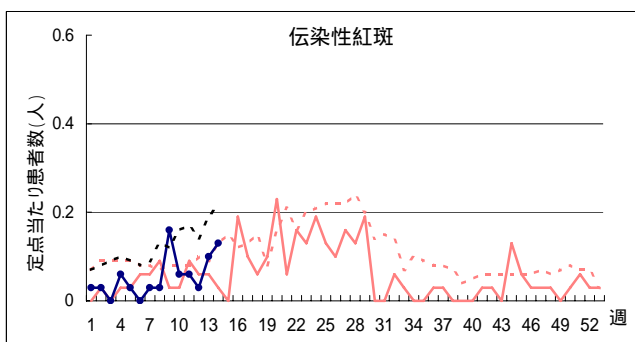
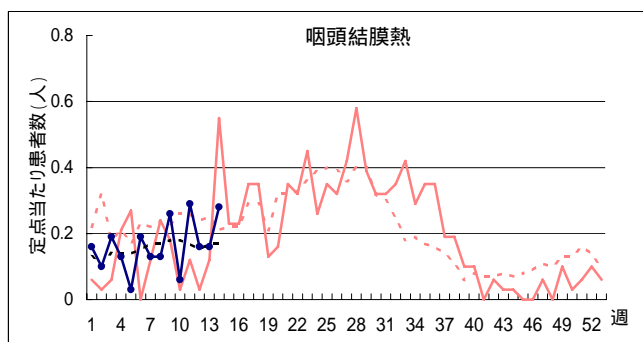
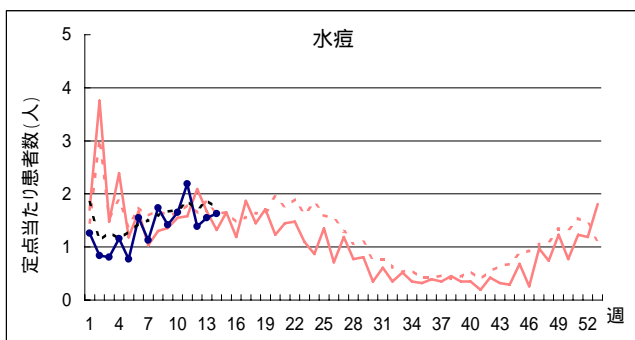
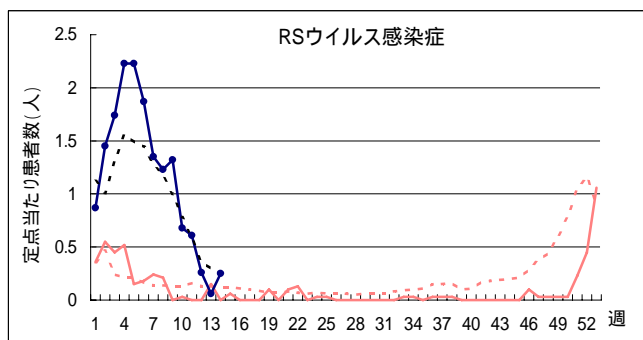
(3) 今週の発生状況

- RSウイルス感染症-----県全体としては第6～13週(2/8～4/4)は、連続して減少傾向を示していましたが、今週は草津からの報告がやや多くなり、先週より増加しています。また、年齢別では、ほとんどは1歳以下ですが、6歳からの報告もあります。
- A群溶レン菌咽頭炎----先週多かった甲賀では減少していますが、草津からの報告が多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週より増加しています。特に、草津、甲賀および長浜で先週よりかなり多くなっています。
- 水痘-----先週多かった東近江では減少し、注意報発生基準値(定点当たり患者数4.00)未満となっています。また、草津では急増し、注意報発生基準値となっています。
- 手足口病-----草津からの報告が多くなっています。

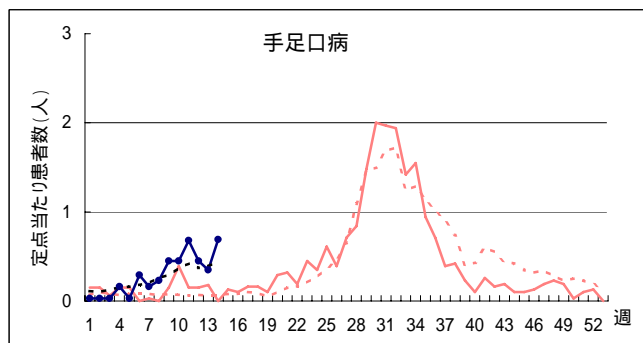
疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 14 週、H22.1.4～H22.4.11)



H21 { 滋賀 ————
 全国
 H22 { 滋賀 —●—
 全国



疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 14 週、H22.1.4～H22.4.11)



H21 〔 滋賀 ————
 全国
 H22 〔 滋賀 —●—
 全国

